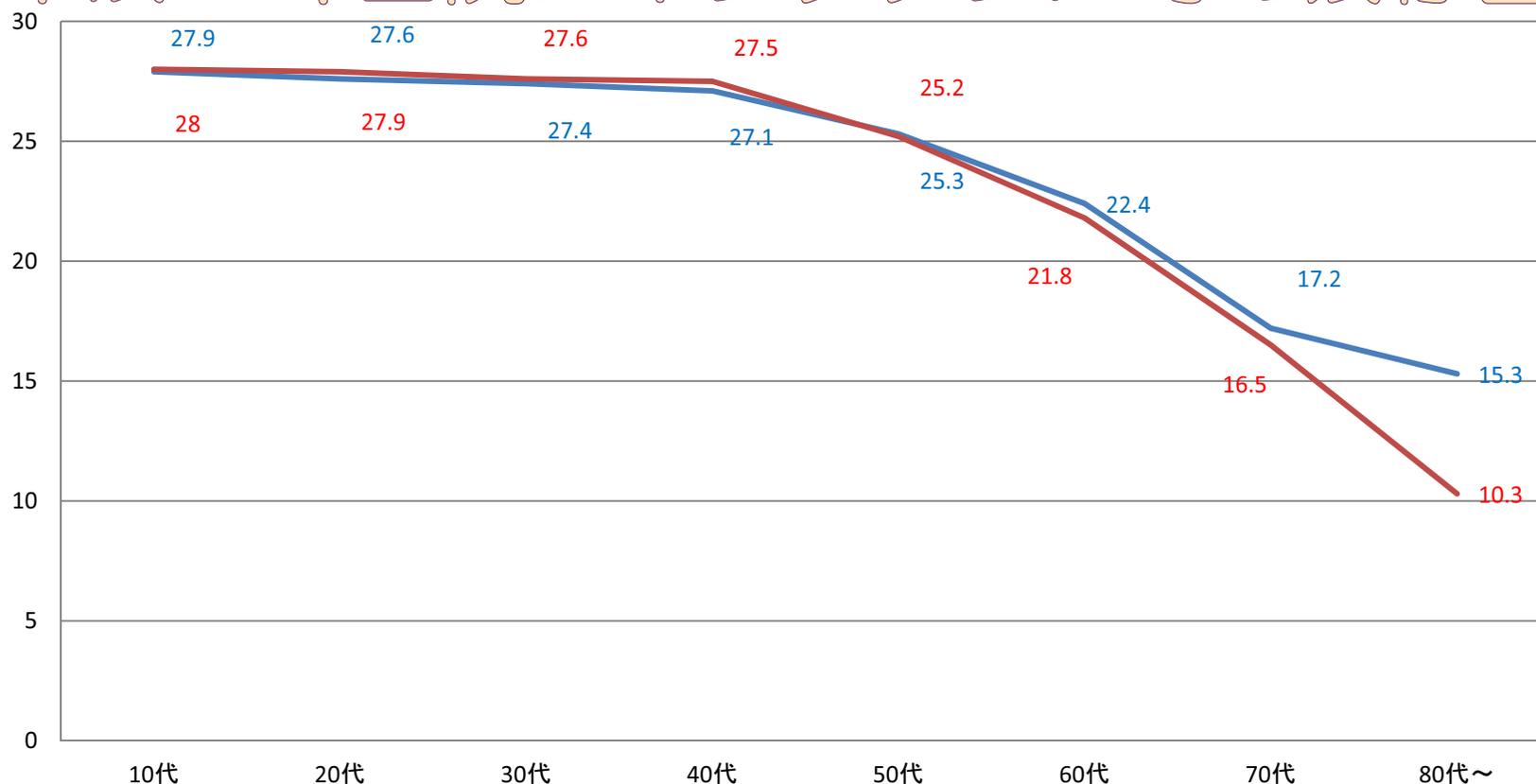


上野歯科医院 口腔内診査状況

平成23年歯科疾患実態調査と 平成26年当院メンテナンス時の残存歯数



赤：平成23年歯科疾患実態調査 青：平成26年当院メンテナンス時

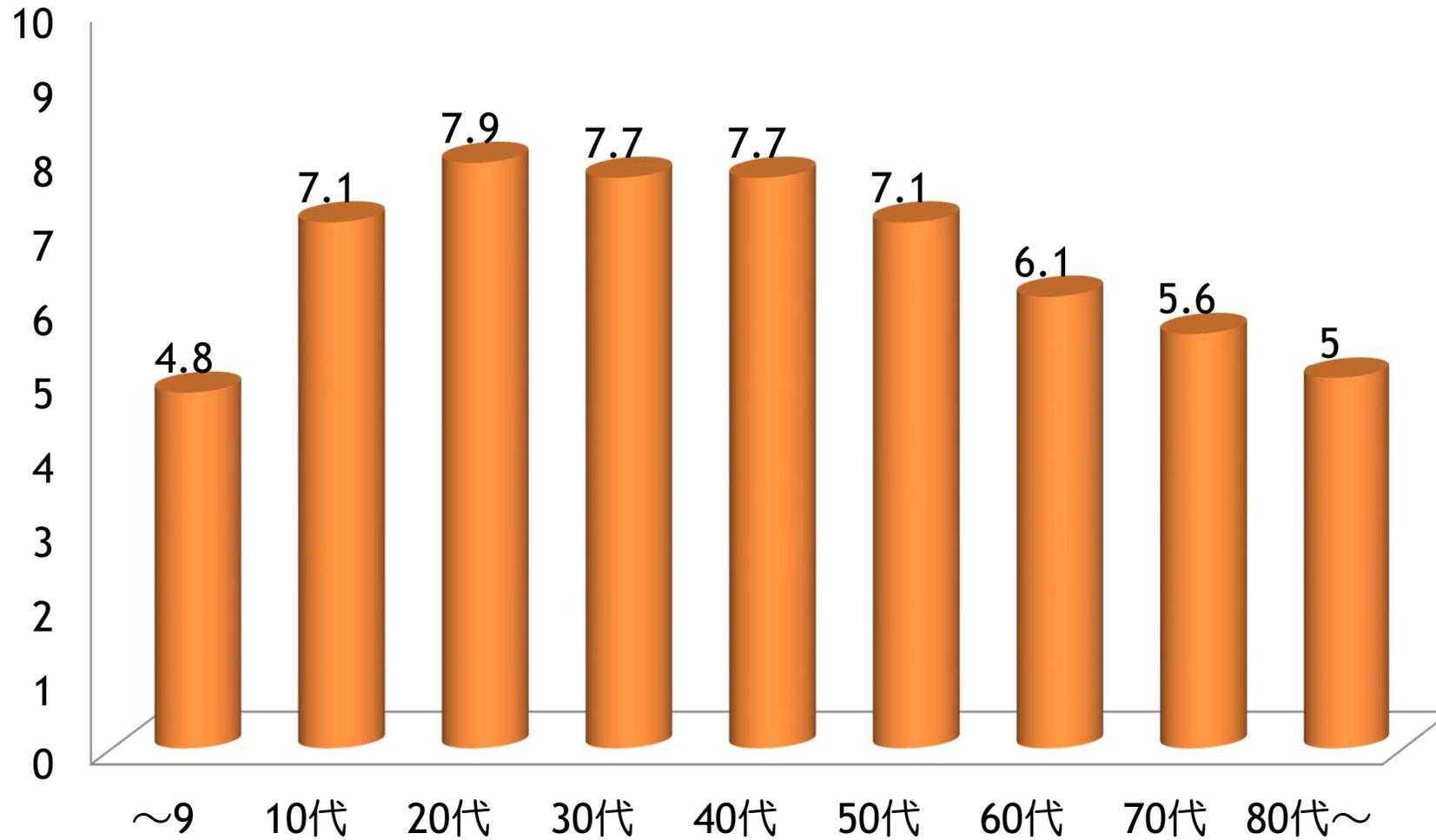
40代~50代の間になると約3本の歯を失い始め、それ以降はさらに歯を失っていきます。

歯を失わないようにするには日頃のケアがとても重要となります。

まとめ

- ◎ 歯が失われる9割の原因は虫歯と歯周病です。
- ◎ 平成23年歯科疾患実態調査と平成26年当院メンテナンス時の残存歯数を比べると、40代、50代から残存歯が減ってきています。メンテナンスに通うことで80代では5本以上多く、歯を残せることが分かりました。
- ◎ 早期からの定期的なクリーニングと毎日の歯ブラシ、フロス、歯間ブラシでのホームケアを行うことで、将来歯を失わず、しっかりと噛むことができます。

唾液量

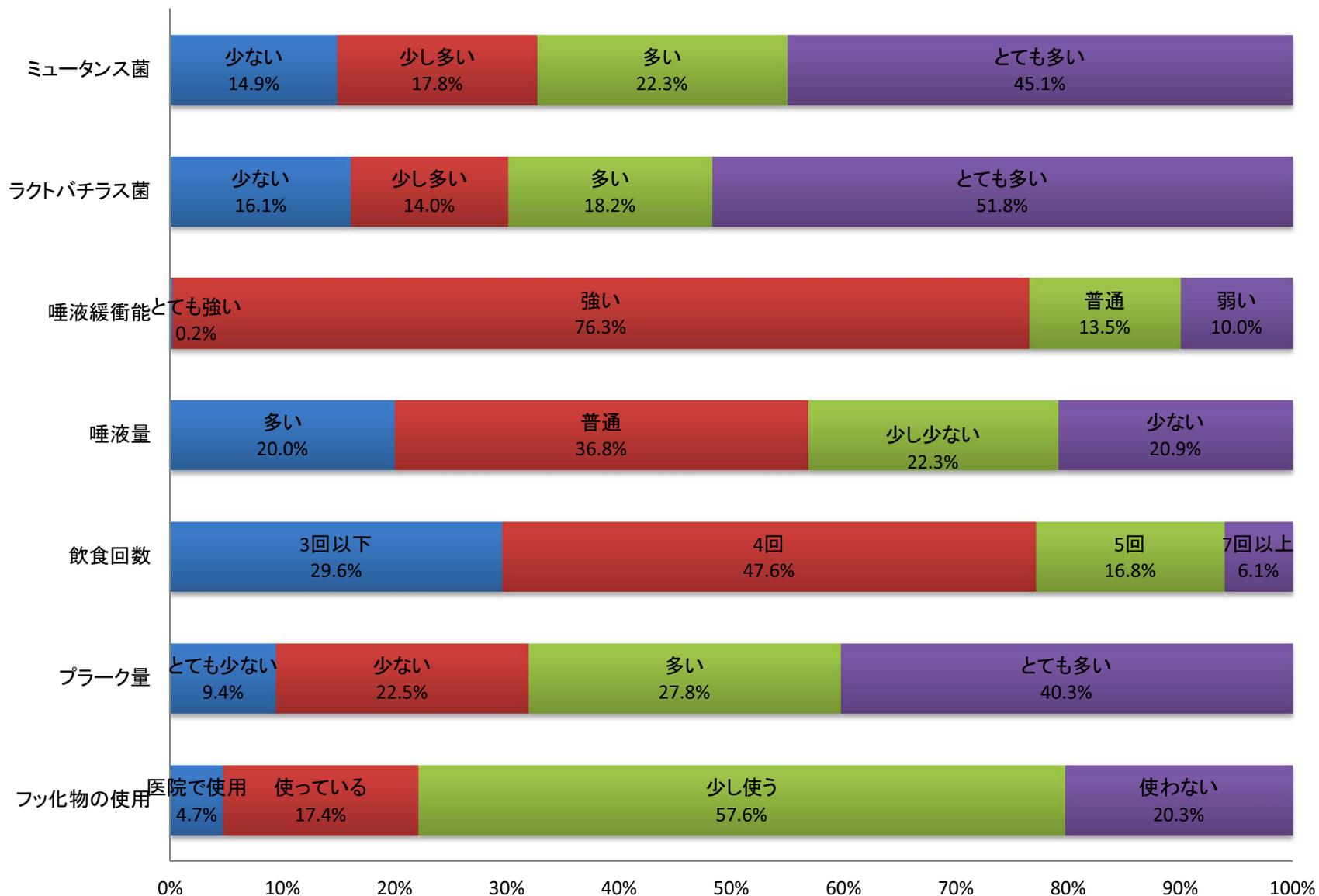


唾液は1日に1500ml出ます。
唾液量が少ないと虫歯のリスクが高くなります。

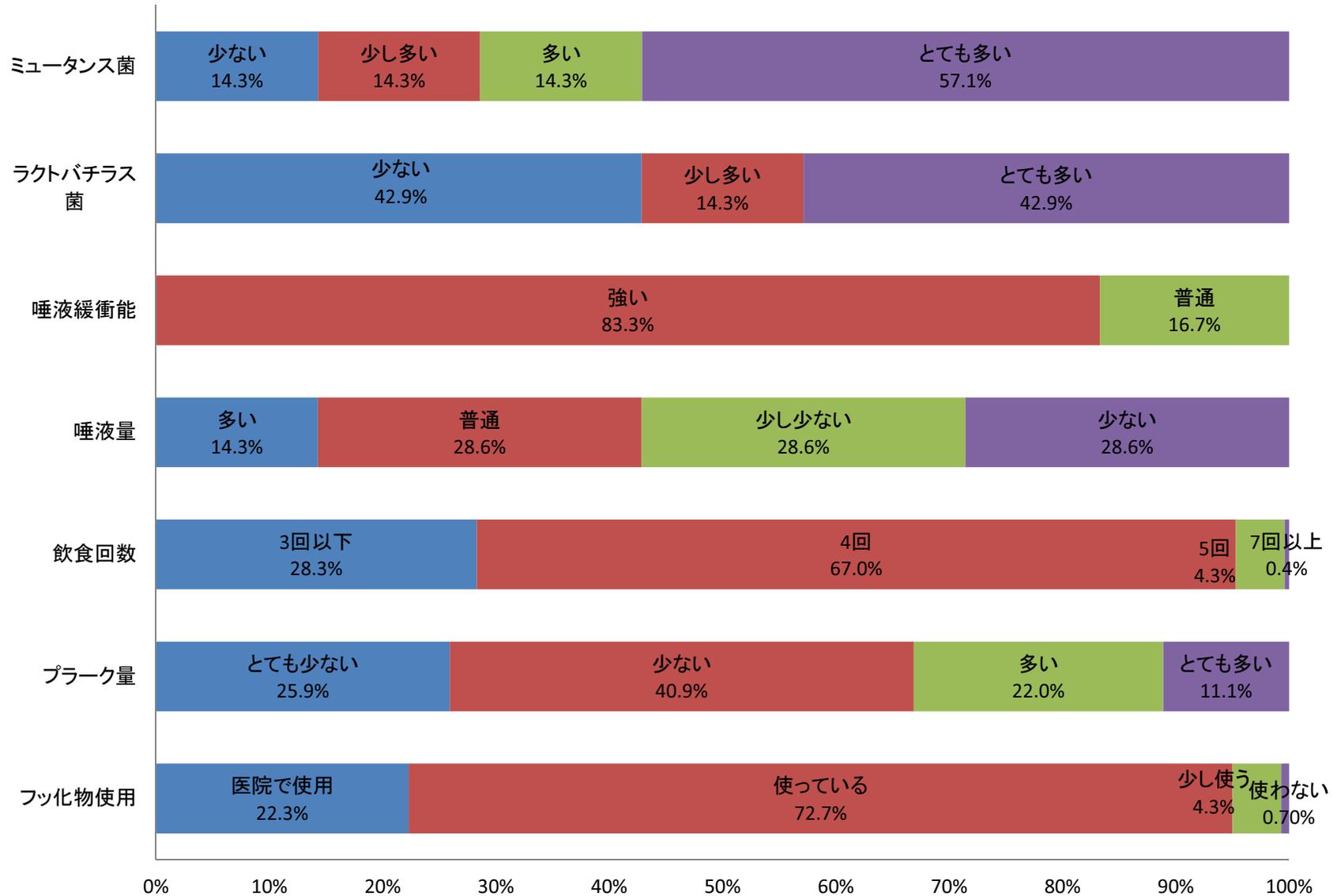
まとめ

- ◎ 5分間の唾液量の正常値は5ml以上です。
 - ◎ 唾液には消化作用、自浄作用、抗菌作用、粘膜保護作用、緩衝作用、再石灰化作用があります。
 - 消化作用・・・・・・・・食べ物のデンプンを分解します。
 - 自浄作用・・・・・・・・歯の表面に付着したプラークを洗い流します。
 - 抗菌作用・・・・・・・・菌の増加を抑えます。
 - 粘膜保護作用・・・・・・・・粘膜を保護します。
 - 緩衝作用・・・・・・・・酸性の環境から中性の状態に戻します。
 - 再石灰化作用・・・・・・・・歯の表面を再生させます。
- 量も大切ですが、作用も重要です。

平成26年当院初診時の虫歯リスク



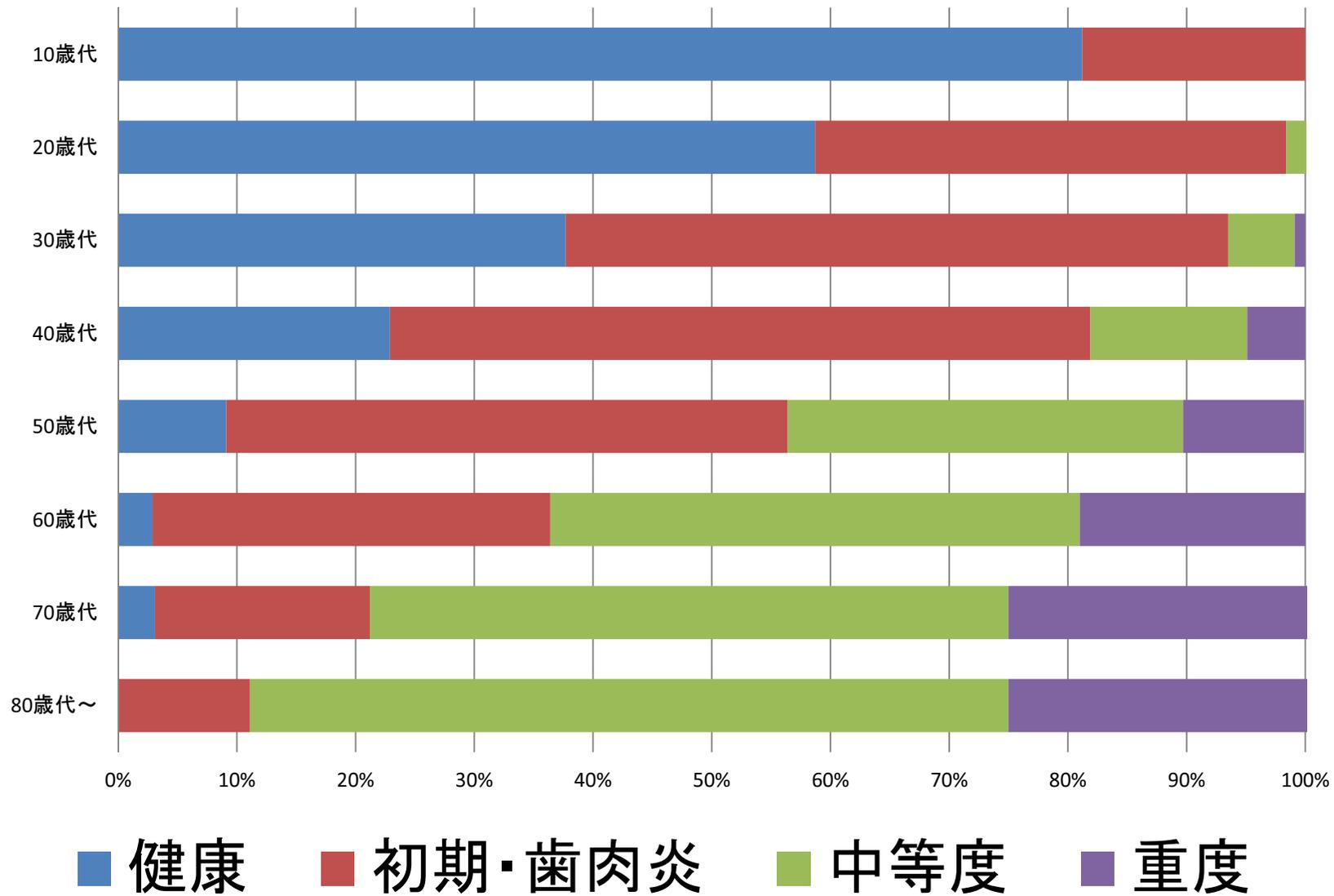
平成26年当院メンテナンス時の虫歯リスク



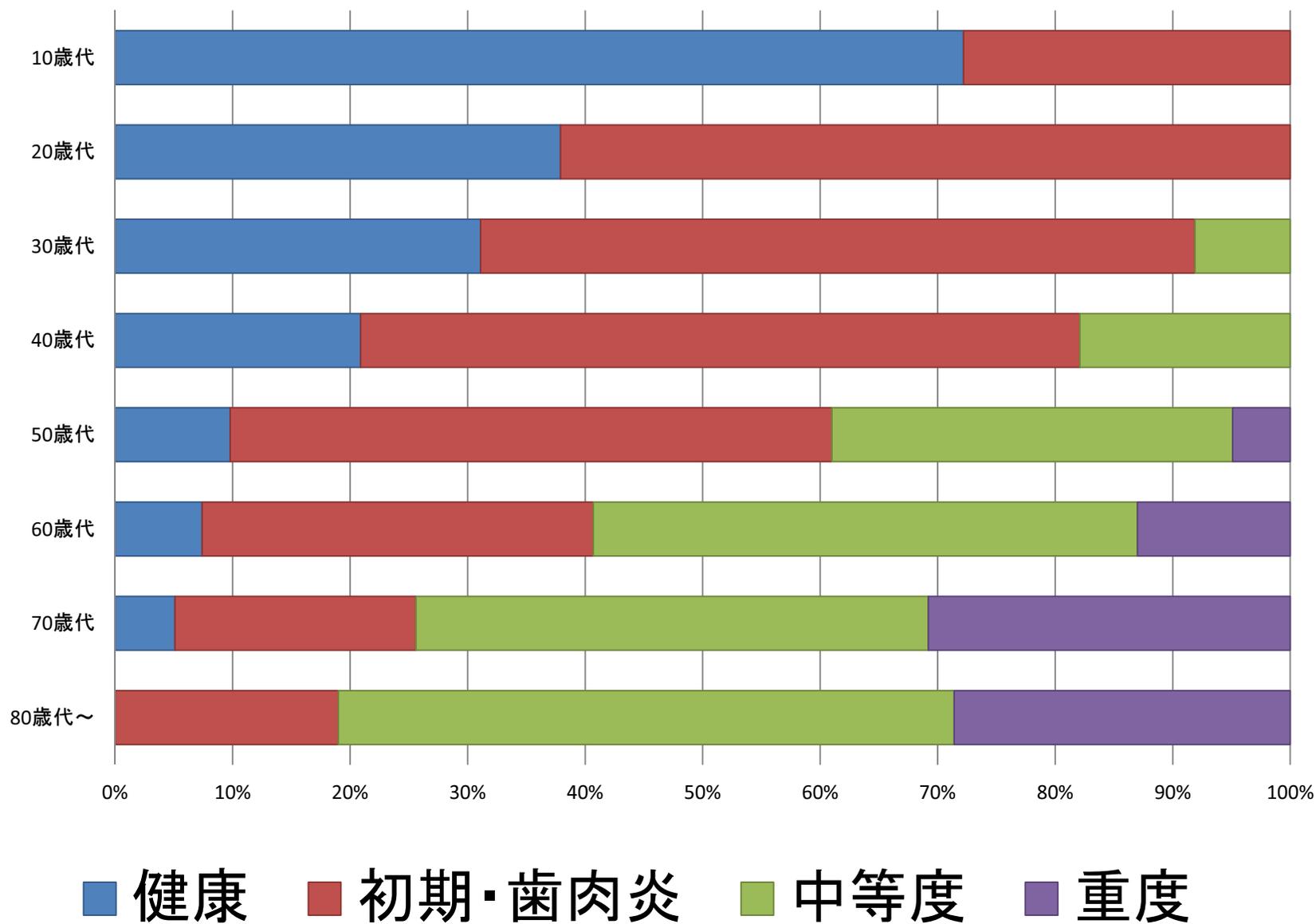
まとめ

- ◎ 初診時とメンテナンス時を比較した結果、メンテナンスに通っている方のプラーク量、フッ素の使用が良くなってきていることがわかりました。
- ◎ 虫歯菌はミュータンス菌とラクトバチラス菌が主な原因です。定期的なメンテナンスによりラクトバチラス菌が減少していることがわかりました。
- ◎ ミュータンス菌は感染症です。1歳7ヶ月～2歳7ヶ月の間に感染が低いほど、将来虫歯で困る心配が低いと言われております。虫歯にならないためには、お口の中にいるミュータンス菌を減少させる必要があります。
 - ・キシリトールを摂る
 - ・フッ素塗布
 - ・定期的なクリーニングを行い、虫歯になりにくい環境にしていくことが大切です。

平成26年当院初診時歯周病進行度



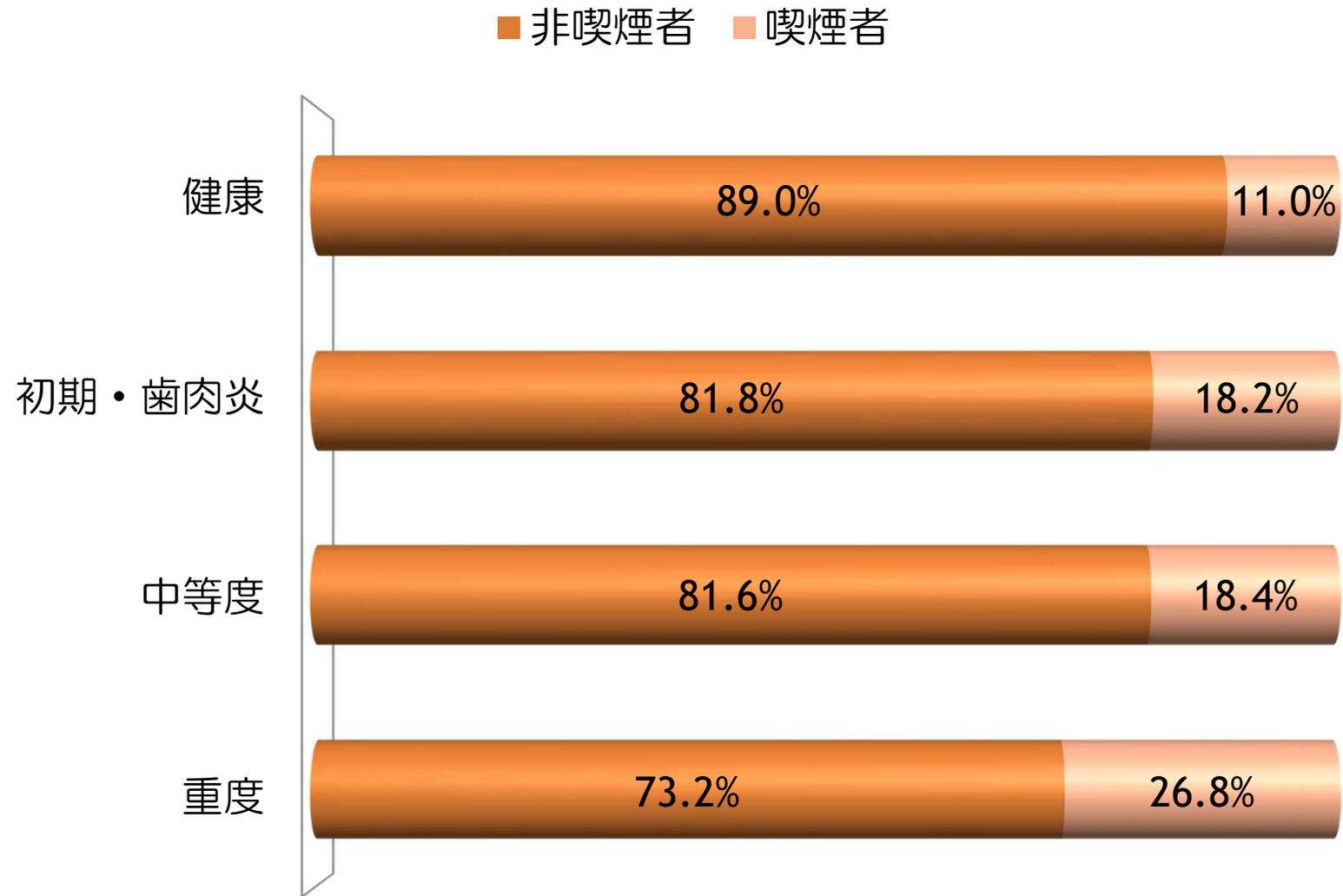
平成26年当院メンテナンス時歯周病進行度



まとめ

- ◎ 歯周病は成人の約8割がかかっている病気とされています。
- ◎ 初診時の時点ですでに20代で中等度、30代で重度の方がいる結果が出ました。定期的にメンテナンスに通うことで進行を遅らせることが可能です。
- ◎ 定期的にメンテナンスに通っている方の歯周病の中等度、重度の値が、初診で来院された値より低い結果が出ました。
- ◎ 早期のメンテナンスで一生、自分の歯で食事ができるようになります。

歯周病と喫煙



まとめ

- ◎ タバコには三大害が含まれています。
ニコチン・・・血液を収縮させる
タール・・・血液の循環を悪くする
一酸化炭素・・・血管を詰まらせる
といった作用があります。
- ◎ 喫煙することで歯周病の悪化に繋がります。早期の禁煙で歯の寿命を延ばしましょう。

いつもご来院ありがとうございます。

平成26年も当院の患者様のデータをもとに、お口の状態を分析しました。

平成26年当院の統計をまとめてみて口腔内への関心の高い方が増えてきていると感じました。

健康な歯を維持していくためには日頃のホームケアと定期的な検査も必要です。

定期的な健診で、変化する虫歯、歯周病リスク、唾液検査、レントゲン写真、口腔内写真などを行い、リスク管理をして健康な歯を維持して行きましょう。

平成27年も、皆様の健康維持のお役に立てるよう頑張ってお参りますのでどうぞよろしくお願い致します。